

出題番号	正解	難易度
1	1	
2	2	
3	4	
4	3	
5	2	
6	2	
7	3	
8	2	
9	3 5	
10	3	
11	2	
12	2	
13	4	
14	2	
15	1 3	
16	2	
17	1	
18	4	
19	2	
20	4	
21	4	
22	4	
23	4	
24	4	
25	2	
26	2	
27	1	
28	2	
29	2	
30	1	

難易度

: 低 : 中 : 高

採点除外 : -

1 基礎 (看護の役割機能)

罰金以上の刑は相対的欠格事由の対象となる。よって、行政処分の対象となる。  
医療事故における業務停止処分、すなわち行政処分の対象として、故意や重大な過失があった場合、過失による医療事故を繰り返しているなどの悪質な場合、医療事故が起きた後に診療録等を改ざん、隠匿するなど、非常に悪質な場合などである。"業務上過失致死傷罪は刑事上の責任である。  
民事上の責任は、損害賠償がある。また、行政処分のための審議は、医道審議会保健師助産師看護師分科会看護倫理部会で行われる。使用者責任は民法で規定されている。民法715条：ある事業のために他人を使用する者は、被用者がその事業の執行について第三者に加えた損害を賠償する責任を負う。

[正解 1 ] (第106回 午前 45)

2 必修 (健康の指標)

これは「無危害」の原則である。  
これは「善行」の原則である。  
これは「正義」の原則である。  
これは「自律尊重」の原則である。

[正解 2 ] (第102回 午後 4)

3 必修 (健康の指標)

運動により筋肉容積は増加する。 100回と同じ問題

[正解 4 ] (第105回 午前 2)

4 精神 (精神看護の基本概念)

プロセスレコードとは、患者とのやりとりの場面を詳細に記録し、のちに意図的に抽出した看護場面を振り返り、自己覚知し、これからの対人関係の向上に役立てるための記録である。

[正解 3 ] (第104回 午後 67)

5 人体 (循環器系)

血管の吻合とは、血管同士の横の連絡のことで、吻合があれば、一部の枝が閉塞しても他の枝から血液が供給される。吻合が多いのは腸間膜の血管などである。吻合がないか、乏しいのは心臓や脳、腎臓で終動脈と呼ばれる。その血管が閉塞すると、血流が途絶え、細胞の壊死（梗塞）を起こす。

[正解 2 ] (第105回 午前 27)

6 成人 (消化器系)

口腔内が乾燥しているということは唾液分泌が減少していることが予想される。唾液が減少すると口腔内環境の悪化し、う歯になりやすい。

[正解 2 ] (第106回 午後 41)

7 基礎 (診療に伴う技術)

創傷の治癒過程は、炎症期、増殖期、成熟期の経過をたどる。  
炎症期：皮膚に損傷が生じると血管が破綻し、血小板が凝集し血塊が生じる。次いで炎症介在物質が放出され、毛細血管の透過性が亢進し浸出液が貯留する。さらに白血球が遊走して細菌を貪食し殺菌作用を行う。そしてマクロファージが壊死物質や異物を貪食し創部を清浄化させる。  
増殖期：創面周囲の線維芽細胞が組織欠損部に遊走し、コラーゲンを産生し肉芽形成を促す。肉芽に血管新生が加わり、血流のよい肉芽が形成される。その後、創収縮が起こり、基底細胞が活性化され上皮化が起こる。  
成熟期：創の上皮化が終了し創部が閉鎖すると、膠原線維が変化し瘢痕組織となり、創部はより強固となる。  
コラーゲンの成熟ではなく産生が起こる。  
基底細胞が創面を覆い、創面の閉鎖が起こるのは成熟期である。  
増殖期では血管新生が起こる。  
マクロファージの貪食により細菌が除去されるのは炎症期である。

[正解 3 ] (第103回 午前 45)

8 母性 (新生児の看護)

聴力検査や心拍モニタリングは、状況に応じて施行する。  
分娩時、ブドウ球菌やクラミジア、ウイルスなどの産道感染による新生児結膜炎を予防するために、出生直後に抗菌薬の点眼が行われる。  
また、過去には、産道を通る際に淋菌に感染し、新生児膿漏眼による失明が起きたことから、クレーデの点眼法（1%硝酸銀液の点眼）が行われていた。

先天性代謝異常検査は、生後5日頃に血液検査によって行う（新生児マススクリーニング）。

[正解 2 ] (第102回 午前 70)

9 成人 (成人保健)

骨密度は低下する。  
味覚の感度は低下する。  
結晶性知能は維持・向上する。  
早期覚醒は老年期で見られる。  
水晶体弾力性の低下は老眼である。

[正解 3 5 ] (第105回 午後 85)

10 基礎 (共通基本技術)

構音障害は正しく発音できない状態をいう。発語筋の障害で起こることが多い。閉じた質問やゆっくり話をしてもらう。  
聴力障害では正面を見て声をかける。  
相手のペースに合わせる。  
失語症は言語中枢の障害であり、運動性失語では閉じた質問を、感覚性失語ではジェスチャーなどのボディランゲージを活用する。

[正解 3 ] (第105回 午前 38)

11 在宅 (在宅看護の特徴)

療養者のライフスタイルを尊重し、ニーズに対応することが訪問看護師の役割である。在宅看護では、家族も看護の対象となる。また、訪問時間以外での個人的付き合いは誤解をまねく危険性があるので避ける。

[正解 2 ] (第104回 午前 69)

12 社保 (感染症と予防)

以下の感染症はすべて感染症法4類に分類されている。  
Q熱は、人獣共通感染症で、リケッチアの一種コクシエラの感染により引き起こされる。  
黄熱は、サルやヒトの人獣共通感染症で、ネッタイシマカが黄熱ウイルスを媒介する。  
狂犬病は、狂犬病ウイルスを保有するイヌ、ネコおよびコウモリを含む野生動物に咬まれたり、引っ掻かれたりしてできた傷口からの侵入で発症する人獣共通感染症である。  
オウム病は、クラミジアによる人獣共通感染症で、病鳥の排泄物が乾燥しそれを人が吸入し、肺炎などを引き起こす。  
SFTSはダニ媒介性感染症で、日本では2013年に初めて報告された。  
発病すると消化器症状、神経症状が見られ、検査所見上は白血球減少、血小板減少、血清逸脱酵素の上昇がみられる。

[正解 2 ] (第106回 午前 76)

13 成人 (生殖器具)

月経前は乳房の張りが強いので、月経終了後4～5日頃に行う。  
月1回は行う。  
指は立てないで、手のひらと指の腹側でなでるように行う。  
鏡の前で両手を挙げ、乳房にくぼ上への凹みやひきつれ、左右差がないかを調べる。

[正解 4 ] (第106回 午前 53)

14 必修 (看護技術)

長期臥床では廃用症候群が生じやすい。筋萎縮、骨萎縮、食欲低下、便秘、心拍出量低下などが生じやすい。

[正解 2 ] (第102回 午後 17)

15 社保 (感染症と予防)

平成26年10月1日現在、予防接種法に基づく定期予防接種に定められている対象疾病(ワクチン)は、ジフテリア、百日咳、急性灰白髄炎(ポリオ)、破傷風、麻疹、風疹、日本脳炎、結核、ヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルスウイルス感染症、水痘、インフルエンザ(65歳以上)である。A型肝炎、B型肝炎、流行性耳下腺炎に対するワクチンは任意接種となっている。(問題文の一部を改変)

[正解 13 ] (第103回 午前 85)

16 基礎 (診療に伴う技術)

注入前に胃内容物を吸引するのはカテテルの先端の位置を確認するためである。  
注入中は上体を起こし、逆流を予防する。  
注入後に微温湯を流すのは、管の中の残渣を流すとともに、管の閉塞を防ぐためである。残渣は感染の温床になるのでそれを防止する。  
注入終了後、チューブを閉鎖するのは残渣や胃液の流出を防ぐためである。

[正解 2 ] (第103回 午後 43)

17 成人 (成人保健)

成人期にはこれまでの経験があり、学習に活かす資源となる。  
内的動機づけによって学習が促進される。  
主体的に評価し進めていくことが重要である。  
課題中心の学習のほうが学習効果は高い。

[正解 1 ] (第102回 午前 44)

18 必修 (対象の理解)

医療法により、診療所は19床以下とされている。

[正解 4 ] (第105回 午後 8)

19 必修 (看護技術)

電法には冷電法と温電法があり、前者には血管収縮、消炎、止血、解熱、知覚神経の鈍磨、鎮静などの作用がある。後者には血管拡張、老廃物の除去、筋・知覚神経の興奮低下、腸蠕動運動亢進などの作用がある。また、皮膚に直接貼付する湿性と、容器に入れて使用する乾性とに分かれる。湿性冷電法には冷シップや冷パップ、アルコール冷却など、乾性冷電法には氷沈や氷頸、氷嚢、アイスノンなどが当てはまる。湿性温電法には温シップや温パップ、ホットバックなど、乾性温電法には湯たんぽやカイロ、電気アソカなどが当てはまる。

[正解 2 ] (第103回 午後 22)

20 成人 (腎・泌尿器系)

尿路ストーマ造設なので尿道はない。  
尿意はない。  
ストーマ装具の交換は数日に1回でよい。  
感染予防のため装具をつけて入浴する。  
感染予防のため水分は十分摂る。

[正解 4 ] (第105回 午前 73)

21 基礎 (看護の役割機能)

診療報酬の評価の対象となっている。  
都道府県を単位とした広域連携となっている。  
記載内容は医師の治療計画ではなく、治療計画書である。投薬や所見以外に、その後の体調の経過やリハビリテーションの経過など、パスの目的により内容は異なってくる。  
地域連携クリニカルパスとは、急性期病院から回復期病院を経て早期に自宅に帰れるような診療計画を作成し、治療を受けるすべての医療機関で共有して用いるものである。これにより、各医療機関はそれまでの診療内容がわかり、また情報が共有されているので、患者も安心して医療を受けることができるようになる。平成18年度の診療報酬改定により「大腿頸部骨折」の地域連携クリニカルパスが導入され、平成20年度には「脳卒中」の連携パス、平成22年度には「がん」の連携パスが導入された。

[正解 4 ] (第103回 午後 46)

22 社保 (社会福祉諸法)

妊産婦の深夜業の禁止を規定しているのは労働基準法である。  
産後休業を規定しているのは労働基準法である。  
育児時間を規定しているのは労働基準法である。  
育児・介護休業法(第17条)では、小学校就学前の子を養育する労働者が請求したときは、事業主は1か月につき24時間、1年につき150時間を超える時間外労働をさせてはならないと規定されている。

[正解 4 ] (第104回 午前 35)

23 社保 (保健活動)

一次予防は健康増進や疾病予防のことで、生活習慣や生活環境の改善、健康教育、予防接種、一般健診などが該当する。二次予防とは早期発見・早期治療のことで、じん肺健診や人間ドック、薬物療法などが該当する。三次予防は疾病の管理やリハビリテーションで、職場復帰後の適正配置や疾病の管理などが該当する。  
健康教育の実施は一次予防、人間ドックの受診勧奨、じん肺健康診断の実施は二次予防、職場復帰後の適正配置は三次予防に該当する。

[正解 4 ] (第104回 午後 38)

## 24 必修 (人体、疾病)

低血糖の定義は必ずしも確立されていない。一般には血糖値60～50mg/dL以下とされているが、数値ではなく、症状をきたすほど血糖値が低くなった状態であると定義する場合もある。血糖値70mg/dL以下では副交感神経が優位となり、徐脈傾向となる。血糖値50mg/dL以下では交感神経優位となり、動悸、頻脈、ふるえ（振戦）、不安感、発汗（冷汗）、空腹感、しびれ感、悪心・嘔吐が出現する。血糖値40mg/dL以下では行動異常が、血糖値30mg/dL以下では意識障害やけいれん、昏睡が生じる。

[正解 4 ] (第102回 午前 22)

## 25 小児 (小児の成長発達)

うがいができるようになるのは4歳頃。  
靴が履けるようになるのは2歳半頃。  
コップを持って飲めるようになるのは1歳半頃。  
手を洗って拭くことができるようになるのは2歳半頃。  
昼寝が1日1回になるのは1歳半～2歳頃。

[正解 2 ] (第104回 午前 80)

## 26 母性 (分娩期の看護)

分娩開始は、規則的な陣痛が10分間隔で起こった時点（1時間に6回以上）とされる。  
発露は分娩第2期にみられる徴候で、胎児先進部が陰裂間に常に見えている状態をいう。排臨の後にみられる。  
分娩第2期は、子宮口全開大から胎児娩出までをいう。  
分娩第4期は、胎盤娩出から2時間をいう。

[正解 2 ] (第103回 午前 65)

## 27 基礎 (診療に伴う技術)

長期にわたる圧迫では血流遮断による壊死が生じることがあるため、圧迫開始時刻を記録する。  
止血帯は3cm以上の幅の広いものを用いる。  
動脈圧より低い圧では止血されない。  
圧迫は30分に1回、止血帯を1～2分緩める。このとき、皮膚色やしびれの有無、感覚麻痺の有無などを観察する。

[正解 1 ] (第103回 午前 46)

## 28 母性 (ライフステージの看護)

血糖値は低下する。  
骨吸収が促進される。  
体脂肪率は低下する。  
エストロゲンは低下する。

[正解 2 ] (第106回 午前 61)

## 29 老年 (高齢者の疾患と治療)

残気量は上昇する。  
肺活量は低下する。  
嚥下反射の閾値は上昇する。  
気道の線毛運動は低下する。

[正解 2 ] (第106回 午後 49)

## 30 老年 (生活支援)

認知症に対するノーマライゼーションは、自己決定を尊重し、適切な環境を提供する。

[正解 1 ] (第105回 午後 48)